

回答編

No. /

設問 1. 出発まで

(1) JICAにかけつけるまでに、あなたは何をしなければならぬかを考えて下さい。

・ 職場の管理者(上司)に確認し、同僚の了解、家族の同意を得る。

・ JICAにかけつける交通手段の確保をする。

・ 個人装備の準備をする。

(2) 個人装備としてあなたは何を準備しますか。

・ 常備薬、衣服(現地の気候考慮)、眼鏡、2個
時計、サングラス

(3) JICA集合時、オリエンテーションにおいてあなたは何を期待し、また何を確認したいですか。

・ 被災地の状況を確認し、現地が何を希望しているのかを確認。

・ 他国TEAMとの協力の状況

・ 到着後の通訳、案内係の有無、派遣先の状況その他を確認

設問 2. 現場到着まで

(1) ロスアンゼルスで乗り継ごうとしたら、エアロメキシカーナのカウンターはパニック状態で最初の乗継便にはどうしても12人中6人しか乗れないことが分った。
あなたがリーダーだったらどう対処しますか。

・ 現地に問い合わせて情報を確認し、チーム構成などを検討する。

・ 後発隊現地合流後の確認をする。

(2) メキシコ市に全員が到着した時点で現地対策本部から、日本チームはメキシコ市より西北西に約580 Km 離れたグアダハラ(Huadalupe) に行ってくれと要請された。
しかし、グアダハラに定期便で到着したとき、医薬品のダンボール箱が3個なくなっているのに気が付いた。チームとしてどう対処しますか。

・ 紛失した物品の確認後、社内の現地調達(現地購入又は現地他チームへの入手)の可否をJICAメキシコ事務所へ問い合わせる。
不可能な場合は日本への発注を検討する。

設問 3. 活動計画

グアダラハラ市の対策本部より状況の説明（別紙）があり、日本チームにはグアダラハラ市内南西部の Sector JUAREZ（フアレス地区）が割り当てられ、地区のほぼ中央にある被害のなかった小学校（平面図別紙）で治療にあたってくれと要請があった。次の項目について、具体的な活動計画をたてて下さい。

(1) 病棟設営

◦ 病室を重症、軽症外来に分ける。(動きやすいように使う。)

◦ その他安置室、器材・物品室、部員の宿舎、処置室、詰所などを設置する。

(2) 医療計画

◦ 24時間体制をとる

◦ メディカル・アシスタントを現地採用し、病人のランク分け、整理を
してもらう

◦ 外来は主に現地人医師及び看護婦に依頼する。

◦ 病人側への病状の説明等は現地人関係者に依頼する。

◦ カルテは英語で記入する。(引き上げ後を考慮して)

設問4. 診療にあたって

市内の半壊したビルで現地救助隊が救助作業中にビルが倒壊し、多数の死傷者が出ているとの情報が入った。

(1) 対策本部よりJMTDRに対しこの倒壊ビルで現地救助隊と一緒に活動して欲しいとの要請があった。安全性の面を考慮し、JMTDRとしてどう対処すべきでしょうか。

- ・ 直ちに対策本部と連絡をとり、現場の安全に関する状況(ガス爆発、倒壊など)の確認をし、活動の項目について協議する。この際、救出救助活動は行なわない、危険な状況が発生した場合は撤退することを前もって話し合っておく必要がある。

- ・ 現場に到着後、直ちに現地救助隊長と、救出された人の搬出路、野線病棟の設営場所について打ち合わせ。この際前もって前項での協議結果を伝えておく。

- ・ その他、要員の交替、野線病棟内での活動時間割り等、技術的な問題の詰めが必要である。

その2日後、小学校に設置した病棟内に重症用入院ベッド30床がいきあたり、本格的な医療活動が開始された。

(2) その日、ベッドが満床のところ、市内の倒壊ビルでガス爆発があり、対策本部から30分後に重傷患者を送るという電話が入った。どう対応しますか。

- 入院中の看者が軽症であれば、移動を考える。
- 教室周囲にテントを張ったりしてスペースをとる。
- 他チームとの連絡をとる。
- 優先順位を決める。

(3) 被災者の1人が産気づいた。どうしますか。

- シーシ等下スペースをつくり、お産をさせる部屋の確保
- 必要物資の確認
- 現地の習慣を知るとともに、現地の助産婦をさがす。

設問 5. 文化的側面

(1) 低たんぱく血症で浮腫のおばあさんがいます。ミルクを飲ませようとしたが宗教上の理由で拒否している。どうしますか。

◦ 現地の人(医師、牧師、ミスター、有識者 etc)に依頼して説得してもらう。

◦ ミルクに代用できるものを探す。例: OP

(2) J M T D Rの手渡している薬は飲むなど患者たちに言いふらしている人がいるとのうわさを耳にした。
現に数人の患者が服薬を拒否している。どう対処すべきでしょうか。

◦ 現地の人(医師、ナース、牧師、ミスター etc)に説得してもらう。

◦ 投薬が治療上本当に必要かどうかを検討する。

◦ 噂の原因を追求する。

設問 6. 撤退にあたって

10日程たち、状況は落ち着いてきた。リーダーは2週間で撤退との基本方針で日本や大使館と連絡を取っている。

(1) 隊員のひとりがまだ状態の落ち着かない患者がいるので自分一人でも残りたいと言いだした。
チームとしてどう対処したらよいか。

。 スタッフミーティングのうえ、リーダーの決定に従う。

(2) 撤退にあたって考えなければならないことは何ですか。

。 事務手続き …… (a) 日誌 (記録)
(b) 事務手続き用カルテ

。 患者の引き渡し …… (現地並かに他チーム医師とのミーティング)

。 関係諸管へのお礼

。 日本 関係機関 への 連絡

。 薬品・器具などの整理

JICA